

人生という試合で最も重要なのは
休憩時間の得点である。

発行部数：4500部 / 日刊（月曜日・祝日休刊）

発行：読売センターめじろ台 よみっこ編集部 代表責任者：一本杉裕史 〒193-0942東京都八王子市梶田町586-3 電話（042）668-8030 yomikko99@gmail.com https://yomicco.wixsite.com/website



行政書士 清水 栄さん
月3回無料相談会開催中
予約はお電話かHPにて
042-657-5016
090-3875-3484
http://sakaekt.com

シリーズ 終活

おふたりさまの終活5つのポイント 前編

今回は「おふたりさまの終活5つのポイント」についてお話しします。ここでのおふたりさまはお子様がいらっしゃるしやらない「ご夫婦おふたり様」の事です。お子様がいないご夫婦の場合は終活で「必ず行っておいた方がよいこと」がいくつかあります。

ポイント1【相続】
相続人の確認を行い公正証書遺言を作りましょう。

「おふたり様で片方がご逝去された時、残された方はとても辛い状況となり、何をやる気力もない方が多いです。そのあと問題になるのは相続財産を分けるための遺産分割協議書の作成です。お子様がいらっしゃるしやらない夫A様がご逝去された場合、相続人は奥様だけではありません。夫A様の兄弟姉妹が相続人となります（もし、夫A様のご両親がご健在な場合はご両親が相続人になります）。法定相続の割合は妻4分の3、兄弟姉妹4分の1ですが相続財産を全て明らかにして遺産分割協議書を作成しないとなりません。義理の兄弟姉妹と付き合っていないなど、または認知症になっ

ていたらスムーズには進みません。しかし、公正証書遺言を作っておき、

「全て配偶者に相続する」としておけば兄弟姉妹との相談は不要となります。

ポイント2【介護】
八王子市高齢者あんしん相談センターに相談しましょう。

おふたり様で年をと、高齢のためにできないことがだんだん増えてきます。お連れ合い様が感情の起伏が大きく怒りっぽくなったり、時には認知症が原因の万引きなど、今まで考えられなかったことが起きたりします。ショックを受けどうしたらいいかわかりません。お友達にも恥ずかしくて相談できなくてご自分の中で考えがまとまらない方も多います。

そんな時はお住いの町ごとに「八王子市高齢者あんしん相談センター」がありますので、まずは相談してください。そこでは65歳以上の方のよろず相談に乗ってくれます。「夫が認知症のようで暴力的、ご自分がぼんやりしてしまうことが多い、認知症になる前に専門家と契約したい、叔父が独居だが認知症が進んでいて心配」など、さまざまな相談をすることが出来ます。おひとり抱え込まず相談しましょう。こういうところから清水のような専門家につながることも多いのです。

ポイント3【身元保証】施設などに入る時はどうする？
高齢になり、ご自宅での暮らしが難しくなった時、様々な施設を利用する選択肢があります。入居のための保証人は甥姪（特に姪）様がお手伝いすることが多いのです。その場合、報酬を目的にせず、お手伝いしてくださる方がほとんどですが、感謝の気持ちを忘れないようにしましょう。遺言書などでも財産分与を行うことも大切です。親族ではなく、専門家に依頼することも可能です。その

よみっこ写真館



普段ほとんど乗らない京王線に乗りしたらこんな車両があり驚いた。京王ライナーとして使用するときには座席を乗務員室から自動転換できるらしい。写真は優先座席。一般座席は、乗客が多くて撮影できませんでした。（みなみ野、Nさん）

今日のクイズ？

連想ゲーム

- ①硬くて形はさまざま
- ②どの家にもないと困るもの
- ③外出時はカバンに入れる
- ④玄関やロッカーにある